

## 編集後記

- ◇ 新たな年を迎え、読者の皆様のご多幸と益々のご活躍を心よりお祈り申し上げます。さて、1月号では例年、特集として「いも類の新品種紹介」を掲載しており、本号でもサツマイモ、ジャガイモ、ナガイモの3作物、8品種について育成者に解説いただいた。それぞれ、開発に至る背景事情を反映した個有の特性を持つ新品種であり、今後の普及が期待される。
- ◇ 本号の調査・研究のコーナーには、9月に開催した情報交換会での講演をフォローして、「高温干ばつ年のかん水が加工用ジャガイモに及ぼす影響」を収録させていただいた。振り返ってみれば40数年前、最初に赴任した北海道の帯広で土地改良事業に従事した際には、事業計画で費用対効果の説明に悩まされたものであるが、改めて基盤整備等の重要性を再認識させられた。
- ◇ 昨年末、10月20日から24日までの1週間、例年どおり農水省の消費者の部屋で「さつまいも・じゃがいもの週」が開催された。本年は新機軸として、農水省と農林生協とのコラボによる新品種等の販売も行われ、盛況であった。生芋や加工品の展示も好評で、サンプルの提供に協力いただいた研究機関や企業をはじめ、関係者の皆様には、この場をお借りして感謝申し上げます。
- ◇ 11月には第13回東アジア唐芋友好大会と野國總管甘藷伝来420年記念事業という2つの大きなイベントがあり、後者の取り組みでは『沖縄県「いもの日」特別講演』に対応する機会を与えていただいた。420年前、野國總管により中国から我が国に伝わったサツマイモは、沖縄を起点に北海道まで普及し、近年では海外への輸出が急増している。多くの先人たちの遺徳に改めて敬意を表する次第である。

(矢野哲男)

いも類振興情報 第166号  
2026(令和8)年1月15日発行

定価 1部 500円  
年間購読料(季刊) 2,000円

発行 一般財団法人 いも類振興会  
〒107-0052 東京都港区赤坂6-10-41 ヴィップ赤坂303  
TEL 03-3588-1040 FAX 03-3588-1225  
E-mail: jrta@imoshin.or.jp  
郵便振替 00130-1-110152

印刷 株式会社丸井工文社